

## 地域との連帯を求めた新たな 取組みについて

仙台営林署 ○会計係長 高橋 和己  
土木係長 櫻井 和春

### 1 はじめに

当署管内の国有林は主として奥羽山脈に連なる山岳林とその下部の丘陵林、阿武隈山系北部の丘陵林からなり、広域仙台都市圏及び白石市等県南部都市圏の水源地帯であることから、この地域の国土保全や水源のかん養は国有林の重要な役割となっている。

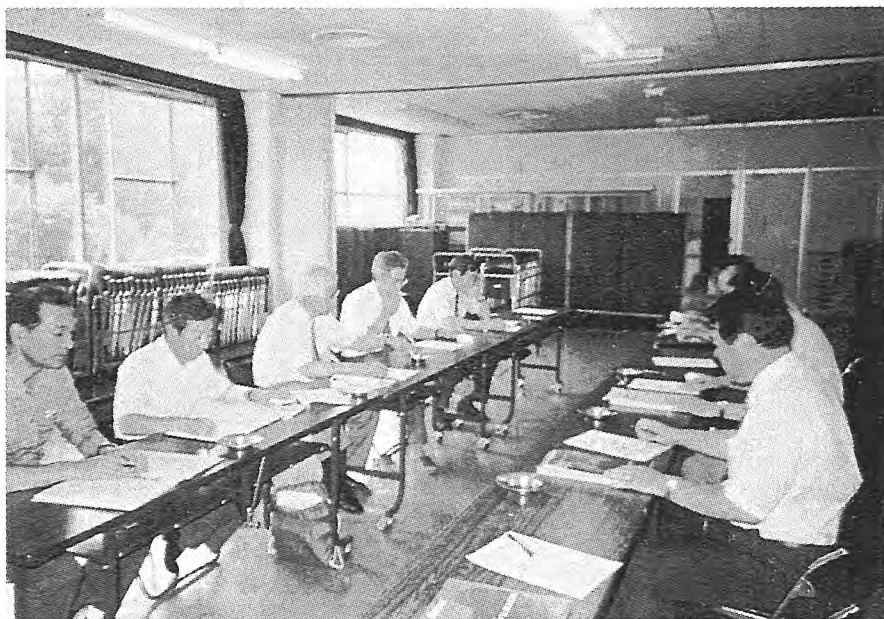
また、近年国民のライフスタイルは「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと変わってきており、管内の国有林に対しても市民から森林の多様な機能の高度発揮が求められてきている。

このような中であって、かねてから署としては森林に対する一層の理解と協力を求めて、地域とのきずなを深める必要性を感じていたところであり、これまで署が参加していた県等主催による行事が中止となったり、規模が縮小されたことを契機として、市民との接触を広め、深めるための署独自の取組みができないか検討することとなった。

### 2 フェア実行前の考察

署・センターの各係の代表からなる実行委員会を作って、7月8日の第1回以降、数度にわたって打合せを行い、フェアの名称を「第1回森林の市フェア」とすること、仙台営林署敷地内で10月25日に開催すること等を決めた。

(写真-1) 署実行委員会の開催状況



実行委員会の中では仙台営林署単独での開催には限界があることから、地域とのきずなを深めるというこの取組みの主旨から幅広く検討を求めましたが、第1回目でもあり、確実に実施することに主眼を置くこととした。

そして、仙台営林署単独での実行では限界があることから、県内林業団体等に参加を呼び掛けることとし、その結果7団体から快諾を得ることができ、署と併せて8団体による共催で開催することになった。

10月1日には参加団体による実行委員会を開催し、フェア実行委員長に仙台営林署長、副委員長に森林開発公団仙台支所長及び宮城県森林組合連合会業務部長を選出、又実行委員会事務局を仙台営林署総務課に置くこととし、事務局は各団体の特色を生かすことを主眼として具体的な企画・立案及び団体間の連絡調整を行うことにした。

表-1 共催団体等

団 体 名 等	所 在 地
森 林 開 発 公 団 仙 台 支 所	仙 台 市 青 葉 区
宮 城 県 森 林 組 合 連 合 会	仙 台 市 青 葉 区
宮 城 県 木 材 組 合 連 合 会	仙 台 市 青 葉 区
宮 城 県 農 林 種 苗 農 業 協 同 組 合	仙 台 市 青 葉 区
登 米 町 森 林 組 合	登 米 郡 登 米 町
有 限 会 社 岩 出 山 木 工	加 美 郡 中 新 田 町
林 野 弘 済 会 青 森 支 部 宮 城 出 張 所	仙 台 市 青 葉 区
仙 台 営 林 署	仙 台 市 青 葉 区

なお、売店はみやぎ生協から推薦があったF・Fポニーに依頼することとし、当日はジュース等のドリンク・焼きそば・フランクフルト等の販売にご協力をいただきました。

署実行委員会は、参加団体による実行委員会の打合せの結果を受けて、実施に向けた具体的な作業に入ることになった。

- (1) フェア会場における事前準備及び当日の諸々の作業は、署職員1人1人が担当することとし、担当毎に責任者を設けました。
- (2) フェアのPR活動として

- ア のぼり・垂れ幕・横断幕・看板等の製作
  - イ NHK仙台放送局へテレビ・ラジオの放映及び放送を依頼
  - ウ 新聞各社へ投げ込み
  - エ 営林署周辺地域の町内会長へチラシの回覧を依頼
  - オ 職員による周辺地域へのチラシの投げ込み
- 等を行うことにしました。

(写真-2) 共催団体による実行委員会開催状況



### 3 フェア実行結果

当日は天候にも恵まれ、9時45分の実行委員長の挨拶による開会式が始まる頃には、10時の展示即売等開始を待つ市民が多数会場に訪れ、開会式は盛大に挙行されました。

フェアが開催されると予想以上の市民の来場があり、各団体とも展示品の販売や団体PR等に懸命に取り組んでいました。

午前中多数来場し、その様子等が12時前のテレビニュースで放映され、午後になってもしばらくにぎわいが続きました。

特に、親子によるリースづくり等のコーナーには家族連れが大勢参加して活況を呈しました。また、山菜・野菜等は好調な売れ行きを見せましたが不景気な世相を反映してか、木工品等でも高額な物や時期的なことからか庭木、緑化木等の売れ行きは今ひとつであった。

フェア終了後、参加団体合同による反省会を開き、今後に向けての検討材料を出し合った結果、各団体からは第1回目としては大成功であったとの意見が大勢を占めるとともに、来年度も引き続き開催することで締めくくりました。

(写真-3~5) 職員によるフェア準備状況





(写真6～8) フェア開催状況



(写真9～10) フェア開催状況



#### 4 まとめ

第1回には入場者数(推定1,000人)は予想以上でありましたが、コーナーによって集客に差がみられ、また販売実績についても参加団体間で大きな差があったと推定されました。

今後には、来場した市民の方々から多数の意見・要望が出されるとともに、署の実行委員会からも、来場者を対象にした周辺での森林(植生)教室の開催等の案が出ました。

このような今回の反省・意見・提案を踏まえ、来年度からはより充実したものになるよう、関係機関・団体と連絡調整を図り、地域とのきずなを深めることにより、名実共に広く親しまれる国有林としていく取組みを進めてまいりたいと考えているところである。